

日野川タイムライン検討会 第3回 ニュースレター

平成30年2月27日（火）鳥取県西部総合事務所（13:30～16:30）

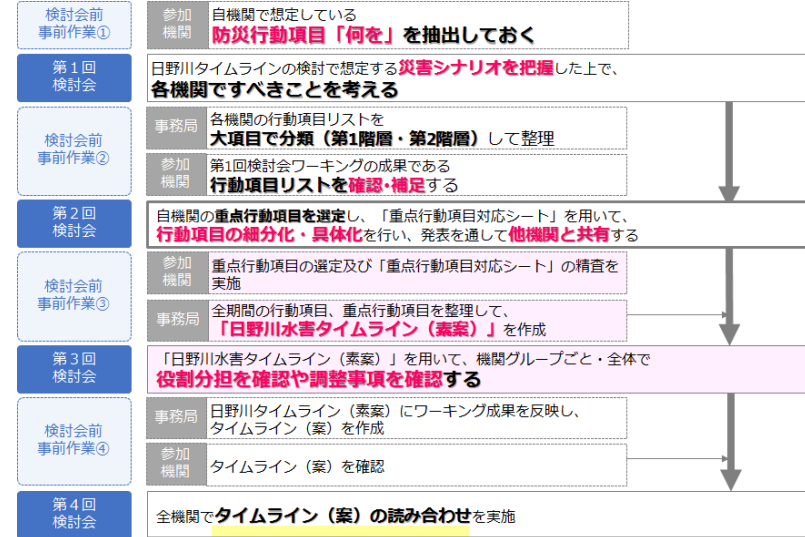
◆ 参加機関（県、4市町村、18機関）

座長	鳥取大学地域安全工学センター	黒岩教授
副座長	鳥取大学地域安全工学センター	梶川助教
米子市 防災安全課	気象庁 鳥取地方気象台	
米子市 維持管理課	国交省 倉吉河川国道事務所	
米子市 長寿社会課	国交省 日野川河川事務所	
米子市 学校教育課	防衛省 陸上自衛隊 第8普通課連隊	
米子市 水道局		
伯耆町 総務課	福祉施設事業者	
伯耆町 地域整備課	なんぶ幸朋苑	
伯耆町 福祉課	ゆうゆう壱番館よなご	
伯耆町 教育委員会	よなご太平園	
南部町 総務課	GHやまもと	
南部町 建設課	博愛会	
南部町 健康福祉課	米子WH	
南部町 総務学校教育課	JR西日本 米子支社 安全推進室	
日吉津村 総務課		
日吉津村 保健福祉課	日本交通株式会社 米子営業所	
日吉津村 建設産業課	日ノ丸自動車株式会社 米子支店	
日吉津村 教育委員会		
鳥取県 危機管理政策課	中国電力	
鳥取県 河川課	米子営業所（配電課）	
鳥取県 西部総合事務所 地域振興局	米子電力所（変電課）	
鳥取県 西部総合事務所 米子県土整備局	米子ガス 施設管理部	
鳥取県 警察本部	NTT西日本 鳥取支店	
鳥取県 米子警察署	NHK 米子支局	
鳥取県 黒坂警察署	日本海TV 報道制作局	
鳥取県 西部広域行政管理組合 消防局	山陰放送 報道部	
	山陰中央TV 報道制作部	
	中海TV 報道部	
	DARAZ FM	

：欠席

事務局	国交省 日野川河川事務所
聴講者	国交省 鳥取河川国道事務所
随行者	米子市 防災安全課

◆ 検討会の進捗と位置づけ



◆ ワーキングの内容

- グループ（機関・同時業者）ごとに役割分担や所要時間を確認することで、**行動項目の漏れや課題、変更点を明確にする。**
 - **全参加機関でタイムライン素案の流れを確認し、各機関からの役割分担の変更や課題、他機関への質問や依頼事項を報告する。**
- ⇒ **全機関で確認し、実効性の高い多機関連携型のタイムラインへ**



機関ごとに行動項目の役割分担を確認



全体で各機関の変更点や疑問点、気づきなどを共有

一次第一

1. 第2回検討会の振り返り (日野川河川事務所)
2. 検討会の進捗と位置づけ (日野川河川事務所)
3. タイムラインの概要について
4. ワーキング
 - ① 各機関及び事業者間での役割等確認
 - ② 全体での役割確認、各機関からの報告
5. 講評 (鳥取大学)

各機関の事前作業

第2回検討会までに抽出した防災行動項目、及びその中から選定した重点行動項目の精査を実施し、必要に応じて第3階層への細分化・具体化を行っていただきました。

機関別行動項目リスト

重点行動項目の確認

重点行動項目の細分化・具体化（行動手段がわかるように）

グループでタイムライン（素案）の確認



- ① タイムライン素案（大判シート）を使用し、グループで全ての行動項目を読み合わせ、役割分担に漏れがないように記号を入れる
- ② 大まかな所要時間を確認し、タイムラインレベルの妥当性を確認する

<記号の使い分け>

防災行動 ◎：主体的に行動する機関、○：それを支援、または協働する機関
 情報収集・伝達 ◎：情報を発信する機関、○：情報を受け、さらに伝達する機関
 各機関の重点行動項目は赤字にする

- ③ 変更点や他機関への依頼事項があればメモしておく

- 役割の変更
- 他機関への依頼・確認事項
- その他の気づき



全体でタイムライン（素案）の確認

- ① タイムライン（素案）を使用し、タイムラインレベルに沿って全体でタイムラインの流れを確認
- ② グループワーキングで挙げられた変更点や他機関に依頼・確認したいことを報告

- ✓ 新たに追加した重点行動項目を他機関に知っておいてほしい！
- ✓ 協力や応援を要請したい！その場合どうすればいいか知りたい！
- ✓ その情報、直接伝達してほしい！もしくはどこに最新情報があるか知りたい！
- ✓ このとき、ここを見てもらえれば必要な情報がある！



◆ ワーキング成果・まとめ

- **避難ルートや避難所開設、交通情報などの情報共有が各機関への重要なポイント**であり、収集・周知方法を明確にする。

⇒ **タイムライン（全体版・ダイジェスト版へ表記）**

- タイムラインとして収束に向かっているが、**各機関からの提供情報や協力内容を明確にした細かい情報共有**をする必要がある。

⇒ 第4回検討会「**タイムライン読み合わせ**」を通して確認

- タイムラインは**運用を通して改善し続けていく**ことが重要である。
- 運用後はタイムラインの立上げ、レベル移行の周知が重要となり、**市町村が中心となって進めていく**ことが望ましい。



◆ 次回 第4回検討会

- 開催：4月27日（金）13:30-16:30 米子コンベンションセンター
- 内容：**読み合わせによる行動項目の確認**
 - ① タイムライン運用に向けた顔合わせ
 - ② 行動手順の意味や解釈の確認
 - ③ 運用に向けた留意点の確認

事前作業の
お願い

第3回検討会内容を反映したタイムライン（案）の各機関の役割分担（記号◎○、◎○）に変更や誤表記がないかご確認ください。
 ※詳細は事務局よりご連絡いたします。